

国際シンポジウムCREST2020にてオンラインワークショップ開催 ～液状化被害低減のための簡易液状化危険度判断について～

戸建住宅の地盤調査・建物検査を手掛けるジャパンホームシールド株式会社(本社:東京都墨田区、代表取締役社長:齊藤武司、以下「JHS」)は、九州大学主催「第一回 環境に配慮した持続可能な建設技術に関する国際シンポジウム(CREST 2020)」にてオンラインワークショップを開催しました。

CREST2020 は地盤工学的観点から持続可能で回復力のある社会を構築するために、自然災害および人為的災害に関連する問題や情報を広めて意見交換し、代替リソースを使用して解決策に到達することを目的とした国際シンポジウムです。

JHS は SDS 試験を活用した簡易液状化危険度判断について発表し、液状化被害を低減するために、現場実務でより使いやすい液状化調査の提案を行いました。特別講師として東京都市大学・末政直晃教授、オークランド大学・オレンセ教授、カセサート大学・スティサック教授にご講演頂き、国内外における SDS 試験の活用例をご講演頂きました。

参加者の9割以上が SDS 試験について「理解できた」と回答し、「SDS の試験内容、データの解析方法を知ることが出来て充実した内容だった」との意見も頂きました。

JHS は今後も SDS 試験を始めとする優れた技術とサービスの提供を通じて、お客様の安全・安心をサポートして参ります。



CREST2020

■講演内容

1. 日時 令和3年3月11日(木曜日) 13時00分～16時15分 オンライン配信 (Zoom)
2. 内容 「SDS 試験における地盤評価と液状化評価の現在と今後について」
 - 2-1 SDS 試験における地盤評価と液状化評価
 - 1)SDS 試験装置について: 白波瀬雅史 日東精工株式会社
 - 2)SDS 試験基礎知識: 末政直晃教授 東京都市大学
 - 3)SDS 試験データの液状化評価について: 酒井豪 ジャパンホームシールド株式会社
 - 4)日本での SDS 試験による液状化危険度判断の活用例について
: 内山雅紀 ジャパンホームシールド株式会社
 - 2-2 海外における SDS 試験の活用例
 - 1) Liquefaction Assessment Using Screw Driving Sounding (SDS) Test in New Zealand
Dr. Rolando P Orense, University of Auckland, New Zealand
 - 2)Case Study of SDS test in Thailand
Dr. Suttisak Soralump, President of Thai Geotechnical Society, Kasetsart University

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社 (<https://www.j-shield.co.jp/>)
本社: 東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F
広報マーケティング部 児新(コニイ) TEL. 03-5624-1545
地盤技術研究所 内山(ウチヤマ) TEL. 03-6773-4282